

令和7年5月

魚津市定例記者会見



日時：令和7年4月30日(水) 午後1時30分～午後2時10分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、読売新聞、朝日新聞社
NHK、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1 第13回よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり（商工観光課）

若者がまちに賑わいを創出しようと始めました「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」も今年で第13回目を迎えます。

1日目は、本祭りで5月18日の日曜日で、2日目は、早朝に祭り会場付近の清掃活動を実施します。

4月28日時点で参加エントリー数は、昨年とほぼ同じです。主催は、第13回よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり実行委員会となります。また、同時開催イベントが市役所前公園で「UOZU BEER PARK」としてビールフェスを開催されます。

2 高校生向け合同企業・業界説明会（商工観光課）

高校3年生を対象とし、市と株式会社ライセンスアカデミーさんの共催により開催します。

富山県内の高校が対象ですが、主に新川地域の高校が参加します。去年は、140名余りの生徒さんの参加がありました。

出展事業者は、去年は30社、うち市内に本社がある企業は5社でした。市内企業のPR、採用の促進の機会として活用をしていただければというふうに考えています。

また、進学希望者を対象と大学や専門学校が出展する学校説明会も同時開催します。

3 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会（農林水産課）

毎年実施しております、魚津の農林水産業を親子で学ぶ「親子体験会」のご案内になります。

6つのコースを1年間にわたり行います。対象は、市内小学生とその保護者で、4月14日から30日までに「くだもの」、「やさい」、「田んぼ」の各コースの参加者を募集しております。

毎年人気があり、親子55組(110名)の定員に対し、「くだものブドウ」及び「田んぼ」は定員オーバーとなりました。「くだものりんご」及び「やさい(さつまいも)」はまだ募集枠に余裕があります。

なお、「木材」及び「さかな」については、秋のイベントとなりますので、開催が近づきましたらご案内します。

4 ホタルイカ発光実験出前講座（魚津水族館）

小学校での出前講座ということになります。理科室の中で暗室を作りまして、ホタルイカの発光を観察します。

このような取組を通じまして、ふるさとの特色を理解し、ふるさと自慢ができる児童の育成を図っていきたいということで実施をしております。市内の5つの小学校全てで小学校5年生を対象に実施をしていく予定にしております。

この講座は、令和元年から継続して開催をしております。昨年は、約250名の児童に体験をしていただきました。

5 魚津市一次産業ワーケーション（U0！ワー）（地域協働課）

一次産業において、都市部の多様な人材と地域事業者が協働することにより、地域課題の解決、活性化を目指していこうというもので、一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会に事業委託して実施します。一次産業を通じて関係人口の形成し、高齢化、人口減少、担い手不足など、関わる人を増やしていきたいと考えています。実施については、1年間のうち15日間の体験研修を3回に分けて行います。

6 魚津市官民連携結婚サポート事業（地域協働課）

「婚活のプロと一緒に婚活しませんか」という、サブタイトルで、民間の結婚相談所、黒部結婚相談所と連携して、結婚サポートしていく取組になります。

結婚相談所を利用する場合に必要な初期費用である入会金、登録料、サポート料及び毎月の会費3か月分、9万9千円相当の優待クーポンをお渡しして応援していこうというものです。

魚津市が対象者と認めた入会者について支援を行いますが、対象要件は魚津市在住であること、20歳以上44歳以下であること、市税等に滞納がないこと、活動報告へのご協力いただくことです。

市として初めての取組で、募集人員を5名、先着順で募集します。応募期間としては、5月1日から6月30日までの2か月間を設定をしています。

7 魚津まつり応援団×ふるさと納税クラウドファンディング「300年以上続いたてもん祭りを次世代につなぐプロジェクト」（地域協働課・企画政策課）

地域外の方々とのつながりを大切にし、地域住民と共に活性化を推進する取組の一環として、令和5年度に「魚津まつり応援団」を立ち上げました。

「たてもん祭り」の伝統文化の継承と担い手不足を解消することを目的とし、県外から「たてもん」の山組立から山解体までの一連の作業を支援する方々を募り、地域住民とともに活動しています。

募集する人は、お祭りの引き回しの時だけでなく、お祭りの準備段階から終わりまで運営を応援していただく方々です。立ち上げ年度は27人、昨年度は50人に増えました。

また、今年度は、「ふるさと納税型クラウドファンディング(CF)」の寄附金を活用して実施する予定です。本事業の活動内容を多くの方々に知っていただき、活動を発展させたい思いでCFによる支援を募集するものです。今回のCFは、ふるさと納税型とし、通常のふるさと納税と同様に税金の控除、還付を受けることができます。魚津市外の個人の方には、本市の特産品の返礼品に加え、「たてもん保存会メンバーとの交流会」等の体験型返礼品も出品予定としております

8 魚津市ふるさと納税 令和6年度実績（企画政策課）

令和6年度の実績といたしましては、件数、金額とも過去最多となりました。

- ・件数 13,921件（前年比約1.1倍）
- ・金額 11億7,919万円（前年比約1.5倍）

増加要因としては、8つほどあります。受付WEBサイト数の充実、返礼品数の充実、魚津水族館クラウドファンディング、個人からの大口寄附、商品価格の上昇に伴う寄付額の変更、米需要の増加、寄附受付ページの魅力化などです。

人気の返礼品としては、お米が飛躍的に増えています。

【質疑応答の内容】

○たてもん祭りクラウドファンディングについて

《記者からの質問》

返礼品の提灯名入れは全部で6個でしょうか。また、応援団の正式名称、募集対象は市外の方のみなのか、目標想定人数について教えてください。宿舎整備は目標額100万円に届かなくても整備するのでしょうか。

《市長回答》

提灯の製作オペレーションにかかる時間の関係で、全部で6個となります。応援団の正式名称は「魚津まつり応援団」で、「ま」と「つ」の間に小さい「っ」が入ります。対象は県外の方です。人数目標と言いますか、保存会さんの方で期待されている人数は、70人ほど伺っています。

宿舎については、応援団の方は宿泊自費で来ておられます。宿泊所の整備については、リノベーションではなく、寝具の支援や空き家活用などをイメージしています。

○魚津市官民連携結婚サポート事業

《記者からの質問》

魚津で実施する理由は何でしょうか。

《市長回答》

結婚される方が減少傾向にあるということ間違いありません。県内の他の自治体で取組があるかは把握しておりませんが、県外ではあります。

婚活としましては、今までは、出会いの場を設けてきたのですが、なかなか実際の結婚には結びつかない状況にあり、今年度はダイレクトに結婚を目的とした人を対象にした取り組みを実施してみようということになったわけであります。なお、初年度なので5名にしぼり、今後様子を見て調整していきたいと考えています。

○魚津市ふるさと納税 令和6年度実績について

《記者からの質問》

水族館のクラウドファンディング以外の返礼品のうち、割合が大きいものは何でしょうか。

《市長回答》

お米、海産物、貴金属です。